

事業名:AI/IoT活用による保育現場の「安心・安全管理」のスマート化

～待機児童問題に係る保育士不足問題の解決～

—みんなが笑顔になる保育現場を目指して—(代表者:株式会社アイگران) (1/5)

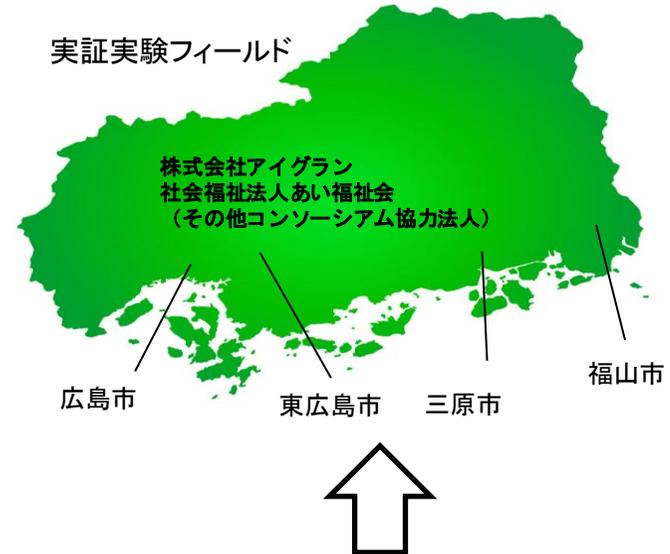
■事業概要

保育現場の安心・安全管理を中心に保育士にとっての負担をIoT/AIの活用により軽減させ、新人保育士・潜在保育士が定着・復職しやすい、「みんなが笑顔になれる保育現場」を確立・展開する事により待機児童問題の解決を目指す
＝広島モデルの確立・展開。

具体的には、保育士にとって心理的・身体的負担の大きい命の見守り業務のIoT化を進めた上で、保育士の業務量を削減する。
その過程で保育現場へのIoT/AI導入をパッケージ化し小規模運営している保育事業者でも保育現場のIoT/AI化が可能な道筋をつける。

最終的にはIoT/AI技術により、保育現場のストレスを可視化し、保育環境の改善に繋げ広島を起点に全国・世界へ質の高い保育環境を展開する。

■コンソーシアム体制・役割



	役割
株式会社アイگران	全体統括、実証実験保育園運営・管理 IoT/AIサービス開発
ユニファ株式会社	保育現場ストレスデータの標準化・解析 健康データ収集・解析
有限会社パシオン	IoT/AIサービスの現場導入・研修
一般社団法人 ヘルスケアマネジメント協会	労働安全衛生法に準じたストレスチェック、 保育現場ストレスデータの収集

事業名:AI/IoT活用による保育現場の「安心・安全管理」のスマート化

～待機児童問題に係る保育士不足問題の解決～

—みんなが笑顔になる保育現場を目指して—(代表者:株式会社アイグラン) (2/5)

■課題

保育現場において組織的な取り組みとして子どもの安全管理は重要な課題であり、そのための環境構築は欠かせないものであると同時に保育現場の大きな負担にもなっている。

実際、潜在保育士へのアンケートで保育現場に就業しない理由のトップで「責任の重さ・事故への不安」が挙がっており保育士不足に起因する待機児童問題の大きな要因になっている。

■課題解決に資するAI/IoTサービス

【午睡センサー】

⇒園児のうつぶせ寝や体動停止を検知

⇒手書きチェックの自動化

【非接触体温計・アプリ連携】

⇒各種センサーの連携

⇒音声入力によるペーパーレス化

■スケジュール・実証成果目標

◆1年目(～2019年3月)

・午睡センサー導入によるバイタルデータ取得及び保育士の業務負担測定開始

◆2年目(2019年4月～2020年3月)

・デジタル連絡帳等へのバイタルデータ連携開始

・スマート体温計導入による児童のバイタルデータ取得及び保育士の業務負担測定。

◆3年目(2020年4月～2021年3月)

・センサーによるバイタルデータ解析
・保育士のストレス変化の解析
・パッケージ化に向けて企画・開発

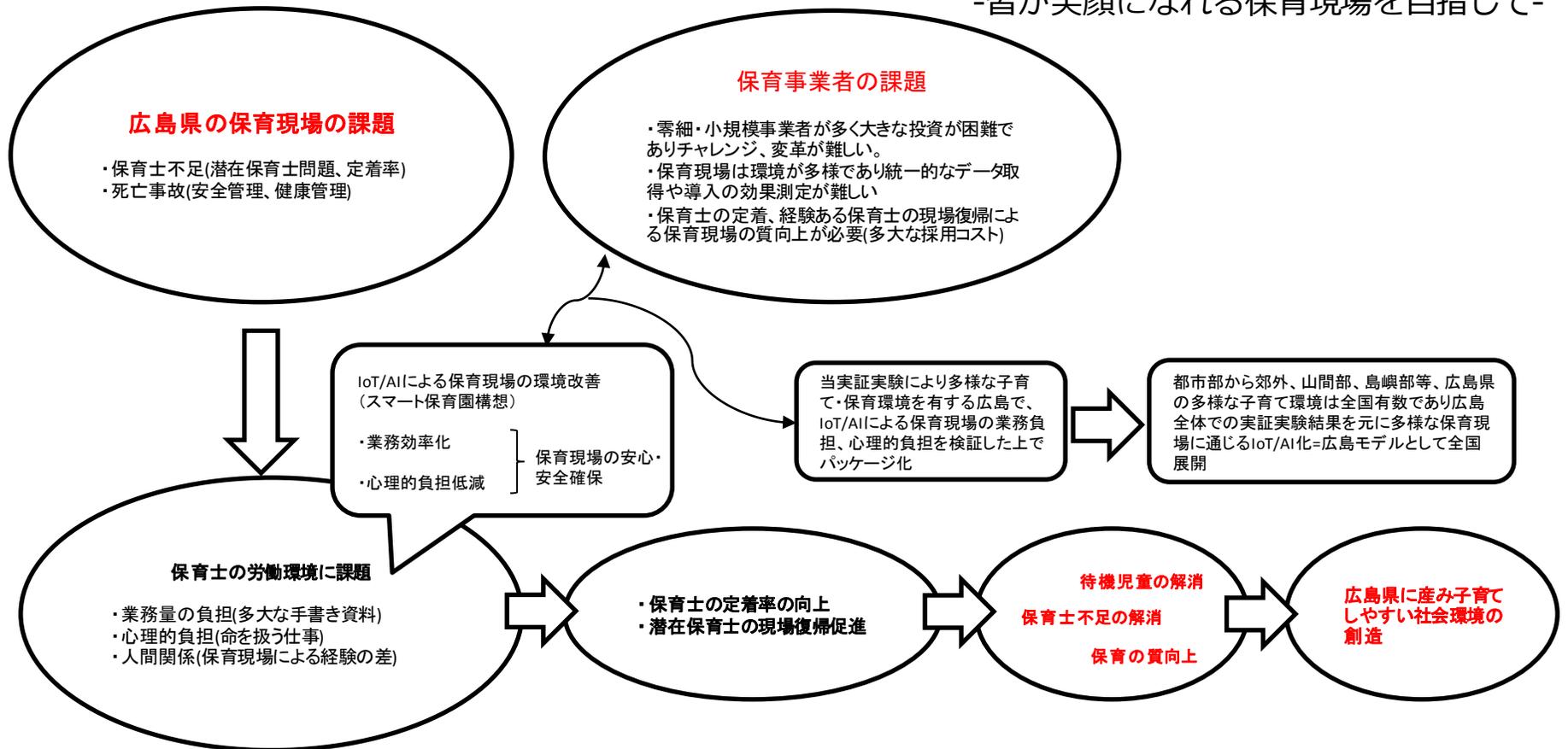
事業名:AI/IoT活用による保育現場の「安心・安全管理」のスマート化

～待機児童問題に係る保育士不足問題の解決～

—みんなが笑顔になる保育現場を目指して—(代表者:株式会社アイگران) (3/5)

■広島県の保育現場から全国的な課題解決を目指す

実証実験で目指す姿・全体像
～待機児童問題に係る保育士不足の解決～
-皆が笑顔になれる保育現場を目指して-

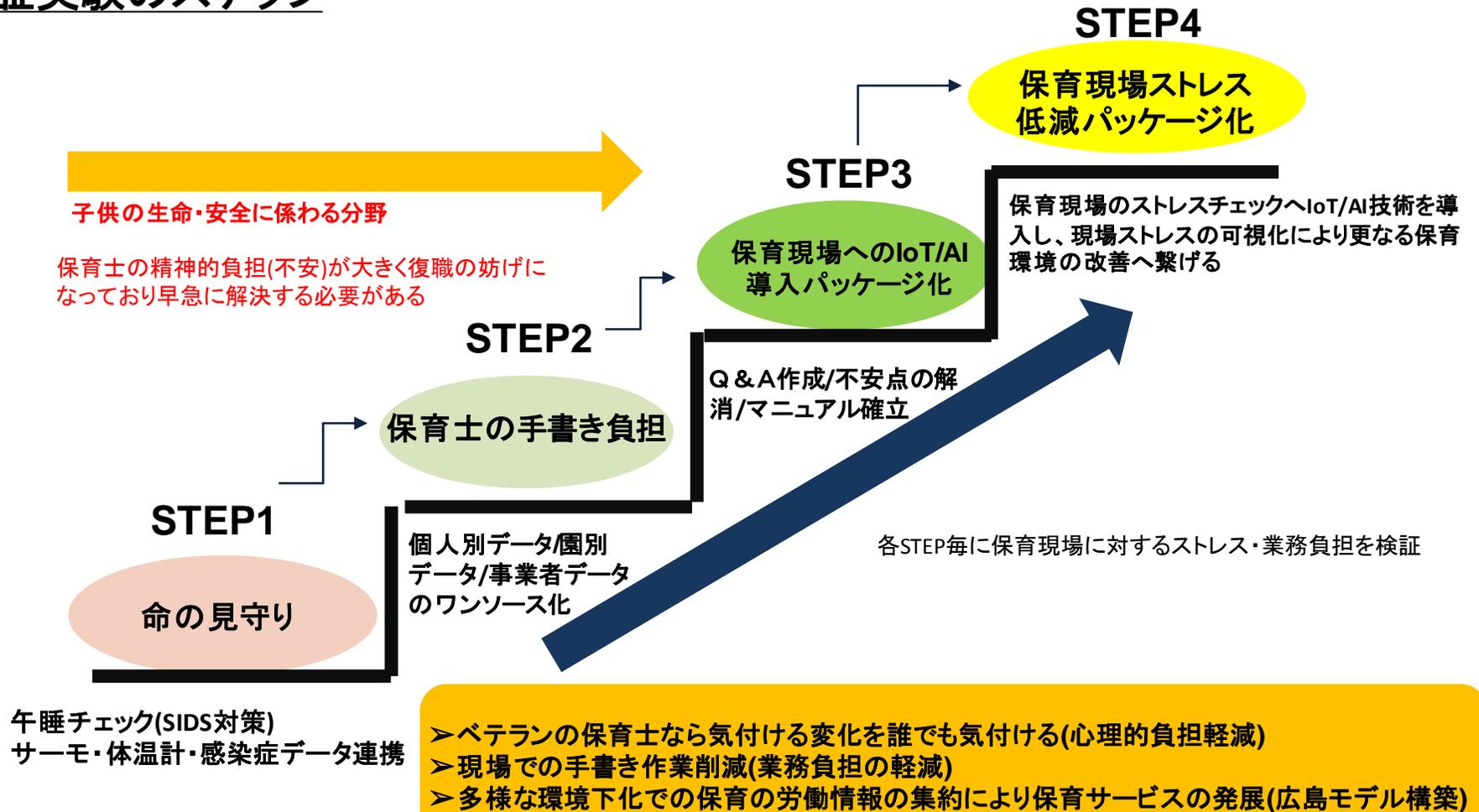


事業名:AI/IoT活用による保育現場の「安心・安全管理」のスマート化

～待機児童問題に係る保育士不足問題の解決～

—みんなが笑顔になる保育現場を目指して—(代表者:株式会社アイگران) (4/5)

■実証実験のステップ



■スマート保育園構想

登降園時



スマート体温計

保育時



タブレット活用



スマートボタン
(午睡チェック)

活動記録



デジタル連絡帳

保育園児・見守りAI

【保育アドバイス例】

- ・Aちゃん、体温があがってきており、排便が3日できていない、睡眠時の呼吸数もいつもと様子が異なる
→お外遊びは控えておこう、入念にお昼寝中は状況確認